

03款 民生費		01項 社会福祉費		01目 社会福祉総務費	
事業名 民生委員費					単位：円
事業内容	遠野市の社会福祉行政の円滑な遂行を図ることを目的とし、地域福祉の充実を図るため、遠野市として民生児童委員に対し、遠野市民生相談員として委嘱し、報酬等の費用を負担する。			計	市民児協定例連絡会 開催回数 12回
				画	各地区民児協 開催回数 12回 市民児協専門部会 開催回数 2回
成果	1 安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献するべく、日常の見守りや地域住民の生活状態把握に努めた。 2 地域住民に対し、必要なサービスや制度の住民への提供、地域住民の相談等の情報提供を行い、地域福祉充実の中心的役割を担った。 3 福祉票、災害時等要援護者登録票の作成を通じて、災害時要援護者支援体制の基本データの取りまとめに尽力した。 4 主任児童委員活動では、遠野わらすっこプラン事業に参加し、新生児への記念品贈呈などを通じて、子育て世帯との繋がりを図った。 民生委員 114人			実績	市民児協定例連絡会 開催回数 12回 各地区民児協 開催回数 12回 市民児協専門部会 開催回数 2回
				値	
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,848,000	5,765,565	20,000	0	0	5,745,565

03款	民生費	01項	社会福祉費	01目	社会福祉総務費															
事業名					社会福祉協議会運営支援事業費	単位：円														
事業内容	<p>地域福祉活動の充実を図るため、中核団体である遠野市社会福祉協議会への支援を実施する。 また、地域福祉及び在宅福祉の充実を図り、住民サービスに応える体制強化を期すること目的に補助を行う。</p>			<p>補助額 34,427,000円 人件費 5人 総合福祉センター管理運営 ちょぼら運営費補助 福祉団体活動支援 7団体</p>																
	<p>1 社会福祉協議会運営補助 23,368,000円 職員人件費 2 総合福祉センター管理運営費補助 7,178,000円 施設維持費及びレクリエーション遊戯室照明の改修(LED化)等 3 地域福祉ネットワーク補助 2,621,000円 ボランティア活動拠点運営費等 4 福祉団体活動費補助 1,260,000円 各種福祉団体支援活動費補助</p>			計 画 値																
成果	<p>社会福祉協議会が策定した地域福祉活動計画2013に基づき、地域福祉の着実な推進とボランティアの育成や福祉団体の活動支援に寄与した。 総合福祉センターは、市民ボランティアや福祉団体等の活動拠点として活用されたほか、松崎地区センターとして松崎町民の地域活動に活用された。</p>			<p>補助額 33,400,000円 職員人件費 5人 総合福祉センター管理運営 レクリエーション遊戯室のLED化等 ちょぼら運営費補助 福祉団体活動支援 7団体</p>																
	<p>1 社会福祉協議会運営補助 23,870,377円 職員人件費 2 総合福祉センター管理運営費補助 6,088,395円 施設維持費及びレクリエーション遊戯室照明の改修(LED化)等 3 地域福祉ネットワーク補助 2,181,228円 ボランティア活動拠点運営費等 4 福祉団体活動費補助 1,260,000円 各種福祉団体支援活動費補助</p>			実 績 値																
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		34,427,000			33,400,000			2,695,000					0			104,000				30,601,000

03款	民生費	01項	社会福祉費	01目	社会福祉総務費															
事業名					被災者支援事業費	単位：円														
事業内容	1 災害弔慰金 災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき東日本大震災により被災された方へ支給する事業である。			計 画 値	被災者住宅再建支援事業 複数世帯 10世帯															
	2 被災者住宅再建支援事業補助金 遠野市被災者住宅再建支援事業補助金交付要綱に基づき東日本大震災により被災された方へ支給する事業である。県の復興計画の最終年度である平成30年度までの予定。																			
成果	1 災害弔慰金の支給等に関する法律に基づく支給 (1) 災害弔慰金 ...該当無し (2) 災害障害見舞金 ...該当無し (3) 災害援護資金 ...該当無し			実 績 値	被災者住宅再建支援事業 複数世帯 5世帯															
	2 被災者住宅再建支援事業により市内に住宅を建設又は購入した世帯 合計5世帯 26人 (前住所地 = 陸前高田市1世帯、大槌町1世帯、釜石市3世帯) 市内に住民票を定めていただく条件から、より一層保健・医療・福祉・介護等のサービス提供が可能となった。																			
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		6,000,000		5,000,000		3,330,000			0				0						1,670,000	

03款	民生費	01項	社会福祉費	01目	社会福祉総務費															
事業名					希望の郷「絆」サポートセンター管理運営事業費	単位：円														
事業内容	希望の郷「絆」仮設住宅団地内に被災者の相談支援を行うサポートセンターを設置し、被災者の生活不安の解消及び自立を支援する。 サポートセンターを拠点として活動する生活支援相談員は、遠野市社会福祉協議会が配置する。			計 画 値	市内避難世帯への訪問相談 の実施 107世帯															
	サポートセンターの生活支援相談員及び地元自治会の連携した取り組みにより、市内避難者と地域住民との交流が図られ、避難生活の不安解消につながった。 また、住宅の再建にともなう転居により自立につながることができた。																			
成果	サポートセンターの生活支援相談員及び地元自治会の連携した取り組みにより、市内避難者と地域住民との交流が図られ、避難生活の不安解消につながった。 また、住宅の再建にともなう転居により自立につながることができた。			実 績 値	市内避難世帯への訪問相談 の実施 107世帯															
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		1,752,000		1,022,575		1,022,000			0				0						575	

03款 民生費		01項 社会福祉費		01目 社会福祉総務費	
事業名 生活困窮者自立促進支援事業費					単位：円
事業内容	<p>経済的または社会的孤立から生活困窮状態に陥る可能性が高い世帯に対して、自らが自立した生活を営むことができるよう生活困窮者自立支援法に基づく必要な事業を実施する。</p> <p>1 自立相談支援事業 2 住宅確保給付金事業</p>			計 画 値	自立相談支援窓口設置 1力所 住宅確保給付金 3件
	成果	<p>自立相談支援事業を社会福祉法人遠野市社会福祉協議会に委託し、健康福祉の里内にて自立生活相談窓口を設置し、窓口による相談対応、訪問を実施した。</p> <p>(参考) 1 自立相談支援事業実施状況(平成27年度) (1)相談者数 86人(実人数) (2)活動件数 794件(延べ) (3)支援調整会議 9回開催</p>			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,576,000	8,814,870	5,547,000	0	0	3,267,870

03款 民生費		01項 社会福祉費		01目 社会福祉総務費	
事業名 臨時福祉給付金事業費					単位：円
事業内容	<p>1 消費税の引上げに際し、所得の低い市民に与える負担の影響に適切な配慮をするため、臨時的かつ暫定的な措置として臨時福祉給付金を支給。 対象者 平成27年度市民税(均等割)が課税されていない方 (ただし課税者の扶養親族や生活保護受給者は除く) 支給額 1人につき6,000円</p> <p>2 一億総活躍社会の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい高齢者を支援するため、年金生活者等支援臨時福祉給付金を支給。 対象者 平成27年度臨時福祉給付金の対象者で、平成28年度中に65歳以上になる方 支給額 1人につき30,000円</p>			計 画 値	1 臨時福祉給付金 対象見込人数 7,500人 2 年金生活者等支援臨時福祉給付金 対象見込人数 4,500人
	成果	<p>1 平成27年9月16日から4ヵ月(申請受付期間延長1ヵ月)、申請書の受付・給付金の支給を実施したことにより、所得の低い市民に与える負担の影響に適切な配慮を行った。 なお、申請の受付場所として遠野健康福祉の里や遠野市役所とびあ庁舎のほか、各地区センター等市内10ヵ所窓口を開設したほか、郵便申請の受付を実施し、申請しやすい環境を整えるとともに、広報遠野やホームページ、遠野テレビでのコマーシャル放送を行い事業の周知を図った。</p> <p>2 年金生活者等高支援臨時福祉給付金については、申請受付が平成28年度となるため、全額繰越事業となっている。(事業費145,492千円)</p>			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
202,449,000	56,956,084	50,572,000	0	0	6,384,084

03款	民生費	01項	社会福祉費	01目	社会福祉総務費	
事業名		子育て世帯臨時特例給付金事業費			単位：円	
事業内容	消費税引き上げの影響等を踏まえ、子育て世帯に対して、臨時的な給付措置として、対象児童1人につき3,000円を支給する。 対象者は、平成27年6月分の児童手当（特例給付を除く）の対象となる児童とする。			計 画 値	給付見込者数	2,000人
					給付見込児童数	3,900人
成果	臨時福祉給付金事業と連携して事業を推進し、広報やホームページ、遠野テレビを活用し、市民に効率的に事業の周知を図った。 児童手当に係る現況届を窓口で受付する際に、事業周知のチラシを配布し、申請勧奨を行うなど申請率の向上に努めた。 支給総額は、8,796,000円となった。			実 績 値	給付実績者数	1,662人
					給付実績児童数	2,932人
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,741,000		11,310,740	10,719,000	0	0	591,740

03款	民生費	01項	社会福祉費	02目	障害福祉費	
事業名		重度心身障害者医療費給付事業費			単位：円	
事業内容	重度心身障害者に対して医療費の一部を給付し、適正な医療の確保及び生活の安定と健康保持を図り、福祉の増進に資する。 【受給対象者】 1 身体障害者手帳の交付を受けている者で、等級が1級又は2級の者 2 特別児童扶養手当の支給対象児童で障害の等級が1級に該当する者 3 国民年金法の1級の障害基礎年金を支給されている者 4 療育手帳の交付を受けている者で、等級がA級の者 所得判定対象者（受給資格対象者、配偶者、生計同一の扶養義務者等）の所得が所得制限限度額（特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令に定める所得制限限度額を準用）以内の者を対象とする。			計 画 値	給付見込者数	
					一般	411人
成果	医療費の自己負担額から、医療機関ごとに1カ月当たり入院は2,500円を超える額、入院外は750円を超える額をそれぞれ給付した。ただし、受給資格対象者が3歳未満である場合及び所得判定対象者全員が住民税非課税の場合は全額を給付した。 支給総額は93,762,532円となった。			実 績 値	一人当たり給付費	
					一般	153,178円
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
97,556,000		95,598,206	39,215,786	0	11,061,138	45,321,282

03款 民生費		01項 社会福祉費		02目 障害福祉費	
事業名 身体障害者3級医療費給付事業費					単位：円
事業内容	身体障害者手帳3級の所持者に対して医療費の一部を給付し、生活の安定を図るとともに、身体障害者の福祉の増進に資する。			計 画 値	給付見込者数 212人
					一人当たり給付費 31,274円
成果	医療費の自己負担額の2分の1の額を給付し、福祉の増進を図った。支給総額は6,397,749円となった。			実 績 値	給付実績者数 198人
					一人当たり給付費 32,312円
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,291,000	6,917,863	0	0	472,455	6,445,408

03款 民生費		01項 社会福祉費		02目 障害福祉費	
事業名 障害者地域生活支援事業費					単位：円
事業内容	1 障がい者及び障がい児が地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業を効率的・効果的に実施し、地域の障がい者福祉の増進に資する。 障害者相談支援事業 社会参加促進事業 日常生活用具給付事業 日中一時支援事業 移動支援事業 地域活動支援センター型・ 型事業 訪問入浴サービス事業 コミュニケーション支援事業			計 画 値	相談支援専門員 2人
	2 障害者総合支援法の趣旨に則り、障害支援区分認定審査会を開催し障害支援区分の認定を行う。また、認定調査、医師意見書作成や審査会の運営等に係る費用を負担する。 3 障害支援区分認定審査会の開催経費及び認定調査費				日常生活用具支給件数 150件
成果	1 障がい者相談支援事業では、相談支援専門員2人体制で相談等業務を担っている。			実 績 値	日中一時支援事業 4事業所
	2 障がい者の自立した生活を支援するため、日常生活用具の支給や日中活動の支援を行い、地域の障がい者福祉の増進を図った。				地域活動支援センター 4事業所
3 平成27年11月に「遠野市ふれあい交流会」を福祉センターで開催し、ゲーム等を通じ当事者と支援者等の交流を深めることができた。(参加者167人)				型 1事業所	審査会開催回数 40回
				意見書作成件数 130件	認定調査件数 125件
				相談支援専門員 2人	日常生活用具支給件数 176件
				日中一時支援事業 6事業所	地域活動支援センター 5事業所
				型 1事業所	審査会開催回数 13回
				意見書作成件数 78件	認定調査件数 85件
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
38,265,000	33,854,569	18,129,000	0	0	15,725,569

03款 民生費		01項 社会福祉費		02目 障害福祉費	
事業名 障害者自立支援介護給付費					単位：円
事業内容	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの利用に対し、自立支援給付費（介護給付費等）を支給する。また、身体障がい者が補装具を購入又は修理する費用を支給する。 1 自立支援給付 訪問系サービス：ホームヘルプ、短期入所等 日中活動系サービス：生活介護、就労継続支援等 居住系サービス：グループホーム、施設入所支援 2 補装具費支給			計画値	障がい福祉サービス支給決定者 270人 補装具費支給 100件
	障害者総合支援法の趣旨に則り、介護給付等事業や補装具給付事業を実施することにより障がい者福祉の向上を図った。				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
598,690,000	590,980,390	442,554,716	0	140,000	148,285,674

03款 民生費		01項 社会福祉費		02目 障害福祉費	
事業名 障害者自立支援医療給付費					単位：円
事業内容	障害者総合支援法の趣旨に則り、次の医療給付を行う。 1 更生医療：障がい者の障がいの状態の軽減を図り自立した日常生活を営むため、その障がいを治療するための給付 2 育成医療：18歳未満の児童に対し、生活の能力を得る為に、その身体障がいを除去、軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる者に対する給付 3 療養介護：病院等への長期の入院による医療的ケアに加え、常時の介護を必要とする身体・知的障がい者に対する給付 ・本人原則1割負担（世帯の所得に応じた上限額有り） ・都道府県が指定した、指定自立支援医療機関での医療が対象			計画値	更生医療給付者 12人 育成医療給付者 7人 療養介護医療給付者 10人
	障がい児や障がい者等の身体障がいの除去や状態の軽減を図る医療給付を行い、経済的な負担の軽減を図った。 <b>【主な給付内容】</b> 更生医療：人工透析、人工関節手術 育成医療：口蓋裂等に伴う形成術や歯科矯正、内部障がいの手術等				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
31,475,000	31,438,993	18,453,334	0	0	12,985,659

03款 民生費		01項 社会福祉費		02目 障害福祉費		
事業名 特別障害者手当					単位：円	
事業内容	1 在宅の重度障がい者（児）に対して、その障がいによる経済的な負担を軽減するため、特別障害者手当等を支給する。 （1）特別障害者手当 26,000円/月（平成27年3月まで） 26,620円/月（平成27年4月から） （2）障害児福祉手当 14,140円/月（平成27年3月まで） 14,480円/月（平成27年4月から）			計 画 値	1 特別障害者手当 48人 障害児福祉手当 12人	
	在宅の重度障がい者（児）の日常生活及び家庭内又は社会における生活の安定を図るために、経済的支援をすることができた。				実 績 値	1 特別障害者手当 58人 障害児福祉手当 15人 2 手当受給者 1人
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
17,013,000	16,701,640	12,525,765	0	0	4,175,875	

03款 民生費		01項 社会福祉費		02目 障害福祉費		
事業名 福祉タクシー事業費					単位：円	
事業内容	重度障がい者等に対し、タクシー料金の一部を助成することにより、社会参加の促進及び通院等の日常生活における移動の支援を図るため、福祉タクシー助成券（580円分）を一月当たり2枚交付する。 【対象者】 身体障害者手帳1級・2級 療育手帳A 精神障害者保健福祉手帳1級 - のいずれかの手帳を所持している者（ただし、施設入所者や自動車税の免除を受けている者を除く）。 【契約事業者】 遠野交通（株）、（有）まるきタクシー、（株）宮守交通			計 画 値	利用人員 250人 交付枚数 6,000枚 使用枚数 4,500枚 利用率 75%	
	社会参加や通院等に福祉タクシー助成券が利用されており、障がい者福祉の向上に寄与した。 【利用内訳】 1 身体障害者手帳1級・2級の者 173人利用 3,221枚使用 2 療育手帳Aの者 8人利用 104枚使用 3 精神障害者保健福祉手帳1級の者 13人利用 273枚使用				実 績 値	交付者数 214人 利用人数 194人 交付枚数 4,834枚 使用枚数 3,631枚 利用率 75.11%
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
2,542,000	2,205,961	0	0	0	2,205,961	



03款 民生費		01項 社会福祉費		02目 障害福祉費		
事業名		人にやさしい住まいづくり推進事業費				単位：円
事業内容	身体障がい者が在宅での生活を安全かつ円滑に営むことを目的に、住宅改修工事を行う際、障害者総合支援法における支給限度額（20万円）を超過した工事費に対し、3分の2の補助金（限度額20万円）を交付する。				計画値	改修件数 2戸
	身体障がい者に配慮した住宅改修の工事費用の補助により、居住環境が整備され、身体障がい者の在宅での自立した生活を促進するとともに、介護者の負担の軽減が図られた。				実績値	改修件数 2戸
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
131,000	131,000	65,000	0	0	66,000	

03款 民生費		01項 社会福祉費		03目 老人福祉費		
事業名		老人保護措置費				単位：円
事業内容	老人福祉法の規定に基づき、65歳以上の高齢者等で環境上の理由及び経済的理由により在宅において一人で生活することが困難な方などをその状態に応じて、養護老人ホームへ入所させるなどの措置を行う。				計画値	措置者数 55人
	入所判定委員会を開催し、養護老人ホーム入所の要否の判定を行うほか、在宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームに入所措置し、当該高齢者の心身の健康保持及び生活の安定を図った。				実績値	措置者数 53人 (平成28年3月末) 【内訳】 ・長寿の森吉祥園 (遠野市) 45人 ・祥風苑(大船渡市) 6人 ・宝寿荘(花巻市) 2人
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
125,903,000	120,172,163	0	0	19,182,649	100,989,514	

03款 民生費		01項 社会福祉費		03目 老人福祉費	
事業名 シルバー人材センター運営事業費					単位：円
事業内容	高年齢者就業機会確保事業費等補助金（シルバー人材センター事業）に係る事業執行方針（厚生労働省）に則り、公益社団法人遠野市シルバー人材センターの運営事業費を補助する。			計	運営事業費補助額 10,100,000円
				画	会員数 290人
成果	遠野市シルバー人材センターの会員が、それぞれの知識や技能等を活かした就業により、高齢者の生きがいづくりや健康の保持増進、社会参加につながっている。 継続雇用等の影響により会員数が減少し、就業延べ人数においても、前年を下回る結果となったが、地域に密着した就業機会の提供を行った。就業率は、平成9年度から連続100%となった。 また、就業上必要な技能、知識を付与することにより、多様な就業に結びつけるため、襖張り講習会や高齢者活用人材育成事業において「介護」、「接遇」、「観光」講習会を実施した。			実	運営事業費補助額 10,100,000円
				績	会員数 229人
			値	就業延べ人数 16,500人日	
			値	会員受取配分金総額 57,500,000円	
				就業率 100%	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
10,100,000		10,100,000		0	0
				そ の 他	一 般 財 源
				0	10,100,000

03款 民生費		01項 社会福祉費		03目 老人福祉費	
事業名 介護保険サービス利用者支援事業費					単位：円
事業内容	介護保険サービスを利用する低所得者が、通常の10%の利用者負担で経済的な理由によりサービスの利用が抑制されないように、国の特別対策と市独自の対策を含めての利用者負担の4.5%（施設2.5%）を軽減することで、低所得者のサービス利用を促進する。 【対象サービス（社会福祉法人が実施するサービス。介護予防を含む。）】 訪問介護、通所介護、短期入所生活介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、複合型サービス、介護福祉施設サービス、訪問看護、訪問入浴介護			計	利用対象者延べ人数 211人
				画	
成果	介護を要する状態となっても、必要な介護サービスを総合的に利用することで、可能な限り在宅で日常生活を営むことができるよう低所得者への利用料負担の軽減を実施した。 経済的事情により介護サービスの利用が抑制されることのないよう軽減を実施することで、低所得者のサービス利用が図られた。 また、平成27年度中に県への本事業にかかる補助金申請について過去の計算金誤りが判明したことから再計算を行い、過去5年分2,632,000円を予算計上して県へ返還した。 内訳は平成22年度分が428,000円、平成23年度分が501,000円、平成24年度分が504,000円、平成25年度分が539,000円、平成26年度分が660,000円。			実	利用対象者延べ人数 172人
				績	
			値		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
9,090,000		7,696,653		1,133,000	0
				そ の 他	一 般 財 源
				0	6,563,653

03款	民生費	01項	社会福祉費	03目	老人福祉費	
事業名					生活支援ハウス運営事業費	単位：円
事業内容	60歳以上のひとり暮らし、夫婦のみの世帯及び家族による援助を受けることが困難な方で、高齢等のため独立して生活することに不安のある方を一時的に生活支援ハウス長寿園に入所させ、安心して生活できるよう援助する。			計 画 値	利用者延べ人数	70人
					利用延べ日数	2,000日
成果	冬期間や退院直後の体調不良等、在宅生活が困難となる高齢者等に生活の場を一時的に提供した。支援ハウス利用後は、住み慣れた地域や自宅で継続して生活することに結びついた。			実 績 値	利用者延べ人数	51人
					利用延べ日数	1,444日
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
9,583,000	6,914,816	0	0	58,933	6,855,883	

03款 民生費		01項 社会福祉費		03目 老人福祉費	
事業名 高齢者在宅福祉事業費					単位：円
事業内容	<p>高齢者が長年住み慣れた地域社会で、できるだけ長く自立した生活を送れるよう集いの場を提供し、生きがいづくりや健康づくりの推進、認知症予防や寝たきり防止のための指導を行う。</p> <p>また、在宅生活を支援するためのサービス提供や日常生活用具の貸与や給付を行う。</p> <p>具体的には、ふれあい・いきいきサロン事業補助、生きがい活動支援通所事業、外出支援サービス事業、軽度生活援助事業、生活管理指導短期宿泊事業、緊急通報装置の貸与、電磁調理器・自動消火器の給付により在宅での生活支援を行う。</p> <p>ふれあいホーム小友及びふれあいホーム附馬牛の浴槽が老朽化により破損し、水漏れが発生したため、浴槽防水改修工事を行う。</p>			<p>ふれあい・いきいきサロン 29団体</p> <p>生きがい活動 6,400人</p> <p>外出支援 1,400回</p> <p>軽度生活援助 3,300時間</p> <p>短期宿泊 300日</p> <p>緊急通報装置 35台</p> <p>電磁調理器 5台</p> <p>火災警報器 10台</p> <p>自動消火器 5台</p> <p>ふれあいホーム浴槽改修 2カ所</p>	
	<p>高齢者が住み慣れた地域社会での生活をできるだけ長く継続できるよう事業を実施した。</p> <p>1 ふれあい・いきいきサロン 高齢者の交流の機会を提供した。</p> <p>2 生きがい活動支援通所事業 参加することにより外出機会の少ない高齢者の貴重な交流等の機会を提供した。</p> <p>3 外出支援サービス事業 寝たきり等で病院受診が困難な高齢者に特殊車両による送迎を行い、通院時等の負担を軽減した。</p> <p>4 軽度生活援助事業 加齢による身体機能の低下等で、除雪や食材確保など日常生活に支障のある高齢者世帯に軽度の生活援助を行った。</p> <p>5 生活管理指導短期宿泊事業 体調不良等で在宅生活が困難となった一人暮らし高齢者等が一時的に施設入所し体調調整を図った。</p> <p>6 日常生活用具の貸与・給付 心疾患等を抱える高齢者世帯に緊急通報装置を貸与し、急病時等の通報ができるようにした。</p> <p>7 ふれあいホーム小友及びふれあいホーム附馬牛の浴槽防水改修工事については、工事に十分な養生期間が必要となり、施設利用者との調整を要することから平成28年度に繰り越して実施する。</p>			<p>ふれあい・いきいきサロン 29団体</p> <p>生きがい活動 6,418人</p> <p>外出支援 1,420回</p> <p>軽度生活援助 1,602時間</p> <p>短期宿泊 7日</p> <p>緊急通報装置 20台</p>	
成果				実績値	
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
44,829,000	36,496,666	0	0	4,523,200	31,973,466

03款	民生費	01項	社会福祉費	03目	老人福祉費	
事業名					後期高齢者医療一般事務費	単位：円
事業内容	<p>糖尿病などの生活習慣病の早期発見や重病化予防のため、後期高齢者医療制度の被保険者を対象とした、保健事業（健康診査）を実施する。 また、後期高齢者医療制度の被保険者で、前年度に75歳の誕生日を迎えた方を対象に口腔機能の維持及び改善を図るため、歯科健康診査を実施する。</p>			計 画 値	健康診査受診見込者数 600人	歯科健康診査見込者数 100人
	成果	<p>各健診事業の対象者に対し、健診のお知らせを送付し、事業の周知を図った。 各健診事業の実施により、健康状態の把握、健康に対する意識改善及び糖尿病等の生活習慣病の早期発見、被保険者の健康の保持推進を図った。 なお、歯科健診は平成26年度まで広域連合が指定した対象疾病に該当し、かつ過去2年間歯科治療を行っていない人に対して無料で行っていたが、平成27年度から市町村が実施主体となる補助事業となった。</p> <p>健康診査対象者 3,007人      歯科健康診査対象者 385人</p>			実 績 値	健康診査受診者数 548人 受診率 18.2%
予算額		決算額	財源内訳			
5,138,000	4,294,377	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	0	3,250,104	1,044,273	

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					わらすっこプラン推進事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（通称：遠野わらすっこプラン）に基づき、市内の子どもや保護者だけでなく、子どもの権利を保障する大人（保護者、地域、学校、事業者）も対象とした事業を展開する。</p> <p>1 遠野市わらすっこ条例普及啓発事業 2 遠野市わらすっこ支援委員会運営事業 3 遠野市わらすっこ基金事業</p>			<p>条例・プラン事業の普及啓発 1事業</p> <p>わらすっこ助成基金事業件数 5件</p> <p>わらすっこ基金への寄附金 5件 500,000円</p>		
	<p>1 遠野市立保育所3園が社会福祉法人遠野市保育協会へ運営移管することに伴い、市内の保育士が所属を超えて遠野市のこれからの保育を共に考えるため、白梅学園大学 汐見稔幸学長と、遠野市出身で元目黒区立保育園の園長井上さく子氏をお招きし、対話会を開催した。 日 時：平成27年9月13日（日） 場 所：みやもりホール 参加者：市内外の保育士284名 また、シンガーソングライターの「たかはし べん」氏が、わらすっこ条例の理念に基づき、遠野市の子どもたちの育ちを歌った「わらすっこのうた」を制作し市内の保育所等で歌われるよう寄贈いただいた。</p> <p>2 遠野わらすっこプラン関連事業における審議や、わらすっこプラン事業等の評価などを審議するため、遠野市わらすっこ支援委員会を年3回開催した。</p> <p>3 わらすっこ基金助成事業については5団体に助成金を交付した。 また、わらすっこ基金へ寄附金14件 1,076,300円、運用利子29,374円合計1,105,674円を積み立てた。</p>			<p>条例普及啓発事業「対話会」を開催</p> <p>わらすっこのうた制作</p> <p>子育て応援宣言普及啓発懸垂幕の制作 4施設</p> <p>わらすっこ助成基金助成事業 5件</p> <p>わらすっこ基金への寄附金等 15件 1,105,674円</p>		
成果				実績値		
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
4,355,000	3,684,691	0	0	2,934,674	750,017	

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費																							
事業名					わらすっこの誕生応援事業費	単位：円																						
事業内容	わらすっこの誕生を祝い、子育てを応援するため遠野産木材で作製した写真立てと、予防接種費用等に活用できる1万円分の子育て応援券を贈呈し、遠野市としてお子さまの誕生をお祝いするとともに、保護者の経済的負担軽減を図る。			計画値	贈呈予定人数	190人																						
	成果	遠野産木材で作製した写真立てと、予防接種（ロタウィルス及びインフルエンザウィルスワクチン）費用や一時保育、病児保育などの特別保育等の支払いに充てることができる1万円分の子育て応援券を配布し、経済的負担の軽減を図った。 【平成27年度の応援券利用状況】			実績値	贈呈人数	159人																					
<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>ロタウィルスワクチン</td> <td>215件</td> <td>1,077,500円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>インフルエンザワクチン</td> <td>160件</td> <td>384,500円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>一時保育利用料</td> <td>7件</td> <td>15,500円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>病児等保育施設一部負担金</td> <td>10件</td> <td>29,500円</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>休日保育利用料</td> <td>3件</td> <td>9,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>395件</td> <td>1,516,000円</td> </tr> </table>			1	ロタウィルスワクチン		215件	1,077,500円	2	インフルエンザワクチン	160件	384,500円	3	一時保育利用料	7件	15,500円	4	病児等保育施設一部負担金	10件	29,500円	5	休日保育利用料	3件	9,000円		合計	395件	1,516,000円	
1	ロタウィルスワクチン	215件	1,077,500円																									
2	インフルエンザワクチン	160件	384,500円																									
3	一時保育利用料	7件	15,500円																									
4	病児等保育施設一部負担金	10件	29,500円																									
5	休日保育利用料	3件	9,000円																									
	合計	395件	1,516,000円																									
予算額	決算額	財源内訳																										
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																							
2,196,000	2,103,713	0	0	1,600,000	503,713																							

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					看護保育安心サポート事業費	単位：円
事業内容	遠野わらすっこプランの理念に基づき、子育て環境整備の一環として整備した遠野市病児等保育施設「わらっぺホーム」を社会福祉法人遠野市保育協会に委託して運営することにより、子育てと就労の両立を支援するとともに児童の健全な育成に寄与する。			計画値	開設日数	240日
	成果	「わらっぺホーム」に対する市民の認知度が高まり、子育てと就労の両立を支援する施設として定着し、児童の健全な育成に寄与することができた。 【参考】			実績値	登録者数
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度（開設日数 242日） 登録者数 188人、年間利用者数延べ 508人（1日平均 2.09人）</li> <li>平成24年度（開設日数 243日） 登録者数 219人、年間利用者数延べ 559人（1日平均 2.30人）</li> <li>平成25年度（開設日数 241日） 登録者数 216人、年間利用者数延べ 553人（1日平均 2.29人）</li> <li>平成26年度（開設日数 242日） 登録者数 211人、年間利用者数延べ 527人（1日平均 2.18人）</li> </ul>			利用者数	500人		
					開設日数	241日
					登録者数	226人
					利用者数	591人
					（実数 226人）	
					1日平均	2.45人
					利用者の年齢	0歳から10歳
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
13,744,000	12,887,414	5,806,000	0	2,110,500	4,970,914	

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 子育て環境育成事業費					単位：円
事業内容	遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（遠野わらすっこプラン）に基づき、認可外保育施設（ベビーホーム）に入所している児童の保育料または企業内託児施設の管理運営に要する経費の一部を助成する。 このことにより、児童の保護者または企業内託児施設の設置者の経済的負担の軽減を図り、もって子育て環境の充実及び、地域福祉の向上、保護者等の子育て支援を図る。			計 画 値	ベビーホーム入所児童保育料助成 15人
					企業内託児施設助成 1施設
成果	認可外保育施設（ベビーホーム）に入所している児童の保育料や企業内託児施設の管理運営に要する経費の一部を助成したことにより、児童の保護者又は企業内託児施設の設置者の経済的負担の軽減を図り、子育て環境の充実及び地域福祉の向上、保護者等の子育て支援を図った。			実 績 値	ベビーホーム入所児童保育料助成 9人
					企業内託児施設助成 1施設
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,220,000	775,000	0	0	0	775,000

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 わらすっこの育ち療育支援事業費					単位：円
事業内容	1 何らかの障がい及び発達の遅れ等がある就学前児童に対し、個別活動小集団活動（ホースセラピー、キッズ体操等）を取り入れた療育支援教室を実施することで児童の心身の発達を促す。			計 画 値	療育支援教室 のびっこ教室 登録人数 10人
	2 補装具の補助の対象とならない軽中等度難聴児に対して補聴器具の購入費の一部助成を行い、保護者の経済的負担軽減を図る。				ジャンプ教室 登録人数 8人
成果	3 就学している障がい児が、放課後又は休校日に自宅に監護する者がいない等の理由により、市内の社会福祉事業所に通所（以下「日中一時支援事業」という）した際に伴う利用料の自己負担額を助成することにより保護者の経済的負担を軽減し、療育の支援を図る。			実 績 値	幼児教育相談員 1人
	1 療育支援教室（のびっこ教室、ジャンプ教室）は、教育委員会や保健医療課、市内各幼稚園・保育園と連携し、個別活動等を通して支援が必要と思われる児童の心身の発達を支援した。 のびっこ教室：心身に発達の遅れが認められる就学前の児童を対象 ジャンプ教室：発達の遅れが生ずるおそれがある就学前の児童を対象				療育支援教室 のびっこ教室 登録人数 16人
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,210,000	5,040,153	0	0	0	5,040,153



03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					保育所運営委託事業費	単位：円
事業内容	<p>保護者や同居の親族が仕事や病気、障がい、出産等のため、児童を保育することができないと認められる場合、保護者からの申込みにより保護者等に代わって保育所において児童の保育を実施する。</p> <p>実施方法は、認定こども園を除く認可保育所については、社会福祉法人遠野市保育協会等への委託による。また、認定こども園においては、基準に基づき市が運営費の一部を負担する。</p> <p>【私立認可保育所定員】 遠野110人、神明 90人、綾織 60人、岩滝 40人、附馬牛 40人、白岩110人、松崎 60人、土淵 80人、青笹100人、上郷 50人、計 740人</p> <p>【認定こども園定員】 遠野聖光こども園123人（教育認定 30人、保育認定93人）</p>			計画値	私立認可保育所定員 740人 認定こども園定員 123人 合計 863人	
	成果	<p>保護者や同居の親族が仕事や病気、障がい、出産等のため児童を保育することができないと認められる場合に、保育所が保護者等に代わってその児童の保育を実施したことで、保護者等は安心して仕事や病気の療養等に専念することができた。</p> <p>【年度末現在入所者数】 遠野 113人(103%)、神明 90人(100%)、綾織 61人(102%)、岩滝 35人(88%)、附馬牛 34人(85%)、白岩110人(100%)、松崎 59人( 98%)、土淵 66人(83%)、青笹 103人(103%)、上郷 48人( 96%)、聖光 84人( 68%)、合計803人(93%) 括弧内記載の割合は定員に対する充足率</p>			実績値	市内私立認可保育所年度末現在年齢別入所人員数 0歳児 96人 1～2歳児 252人 3歳児 155人 4歳児以上 300人 合計 803人(定員863人) 市外保育所入所人員数 3人
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
845,195,000	841,761,060	467,196,626	0	105,099,100	269,465,334	

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					保育所設置者運営事業費	単位：円
事業内容	<p>1 保育サービスの向上を図るため、次の事業を委託する。 (1) 特別保育事業（障がい児保育、保育所地域活動、延長保育、一時保育） (2) 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター「まなざし」）</p> <p>2 私立認可保育所の円滑な運営を図るため、保育実施を委託している社会福祉法人遠野市保育協会に対し、運営費を補助する。</p> <p>3 保育業務のICT化により保育士の負担軽減を図る事業者に対し、保育業務システムの導入費用を補助する。</p>			計画値	特別保育事業 4事業 地域子育て支援センター 1カ所	
	成果	<p>1 特別保育及び子育て支援センター事業の委託により、保育サービス及び在宅児童とその保護者に対する子育て支援の充実に資することができた。 (1) 特別保育事業（利用者延べ1,102人）委託費 5,839,680円 (2) 地域子育て支援拠点事業（利用者延べ3,347人）委託費 7,511,000円 (3) 平成26年度補助金返還金 4,418,000円</p> <p>2 運営費補助金の交付により、社会福祉法人遠野市保育協会の運営を支援し、私立認可保育所の円滑な運営に資することができた。 【社会福祉法人遠野市保育協会運営費補助金交付額 24,885,000円】</p> <p>3 保育業務支援システム導入費補助金の交付により、保育業務の効率化が図られ、保育士の業務負担の軽減を実現することができた。 【保育所等における業務効率化推進事業費補助金交付額 1,000,000円】</p>			実績値	特別保育事業 4事業 地域子育て支援センター 1カ所 保育所等における等業務効率化推進事業 1事業
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
45,575,000	43,653,680	6,824,000	0	0	36,829,680	

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費					
事業名 わらすっこの居場所事業費					単位：円				
事業内容	<p>両親が働いているなど、昼間家庭に保護者がいない児童の放課後の健全育成を図るため、児童館や児童クラブを利用した学童保育を行うとともに健全な遊びを通し、児童の健康増進と豊かな情操を育む。</p> <p>1 児童館指定管理委託 2 児童クラブ運営業務委託 3 母親クラブ等運営費補助金</p>			計画値	児童館 6カ所	児童クラブ 5カ所	利用延べ人数 136,250人		
	成果	<p>児童の放課後等の健全育成を図るため、管理運営を社会福祉法人遠野市保育協会に委託し、児童館や児童クラブを利用することで、体験活動及び伝承活動など児童に健全な遊びの指導や提供を行い、児童の健康を増進し、豊かな情操を育むなどの事業実施に努めた。</p> <p>1 児童館指定管理委託 71,762,000円 2 児童クラブ運営業務委託 28,421,000円 3 母親クラブ等運営費補助金 3,110,000円</p>			実績値	児童館 6カ所	児童クラブ 5カ所	利用延べ人数 140,709人	
予算額		決算額	財源内訳						
103,300,000	103,293,000	国県支出金	地方債	その他	一般財源	32,121,000	0	0	71,172,000

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費					
事業名 児童手当					単位：円				
事業内容	<p>児童を養育している家庭等の生活の安定に寄与すること及び次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的に、中学校修了までの児童の保護者等に、児童手当の支給を年3回（6月、10月、2月）行う。</p>			計画値	支給見込延べ児童数 33,545人				
	成果	<p>支給対象となっている児童の保護者等に年3回（6月、10月、2月）支給した。</p> <p>1 支給金額（児童1人当たり月額）  (1) 3歳未満及び3歳以上小学校修了前の第3子以降 15,000円  (2) 3歳以上小学校修了前の第1・2子及び中学生 10,000円  児童の保護者等の所得が、所得制限限度額以上の場合は、5,000円</p> <p>2 支給総額 376,835,000円</p>			実績値	支給実績延べ児童数 33,269人			
予算額		決算額	財源内訳						
378,451,000	377,281,867	国県支出金	地方債	その他	一般財源	319,871,996	0	0	57,409,871

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 児童扶養手当給付費					単位：円
事業内容	児童扶養手当法に基づき、児童扶養手当を父または母等に支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立促進に寄与する。			計 画 値	新規申請者 57人
					資格喪失者 25人
成果	支給要件に該当する児童を養育している、ひとり親家庭等の保護者に児童扶養手当を支給した。 また、手当支給のみならず、ニーズに合った各種支援につなげるため、現況届提出の際にアンケートの実施、ひとり親家庭相談会実施の周知等を行いひとり親家庭等の生活の安定と自立促進に寄与した。			実 績 値	年間支給延べ人数 2,973人
	平成28年3月末現在受給資格者数 262人 うち 手当基本月額全部支給者 92人 " 一部支給者 136人 " 全部停止者 34人				新規申請者 35人 資格喪失者 35人 年間支給延べ人数 2,833人 うち全部支給者 1,169人 一部支給者 1,664人
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
107,262,000	106,544,350	35,505,123	0	0	71,039,227

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 乳児等医療費給付事業費					単位：円
事業内容	乳幼児、妊産婦に対して医療費の一部を給付し、適正な医療の確保及び生活の安定と健康保持を図り、福祉の増進に資する。 【受給対象者】 1 乳幼児...出生から6歳に達する日以後の最初の3月31日までの者 2 妊産婦...妊娠5カ月に達する日の属する月の初日から、出産した日の属する月の翌月末日までの者 所得判定対象者（保護者、配偶者等）の所得が所得制限限度額（児童扶養手当法施行令又は特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令に定める所得制限限度額を準用）以内の者を対象とする。			計 画 値	給付見込者数 乳幼児 1,069人 妊産婦 76人
					一人当たり給付費 乳幼児 14,851円 妊産婦 99,539円
成果	医療費の自己負担額から、医療機関ごとに1カ月当たり入院は2,500円を超える額、入院外は750円を超える額をそれぞれ給付した。ただし、受給資格対象者が3歳未満である場合及び所得判定対象者が住民税非課税の場合は全額を給付した。 支給総額は18,746,343円となった。			実 績 値	給付実績者数 乳幼児 967人 妊産婦 70人
	乳幼児 14,861,095円 妊産婦 3,885,248円				一人当たり給付費 乳幼児 15,368円 妊産婦 55,504円
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
21,210,000	19,789,449	8,123,007	0	1,588,682	10,077,760

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 小学生・中学生医療費給付事業費					単位：円
事業内容	市内に在住する小学生、中学生及び市内に在住する者に養育される小学生中学生の医療費の一部を給付し、心身の健康を保持するとともに生活の安定を図り、福祉の増進に資する。			計 画 値	給付見込者数 小学生 981人 中学生 502人
					一人当たり給付費 小学生 5,489円 中学生 5,719円
成果	医療費の自己負担額の2分の1の額を給付した。平成27年8月から小学生入院分が県補助対象となったため、8月診療以降は入院分のみ5,000円を超える額（住民税非課税者は全額）を給付し（外来分は従前どおり）、福祉の増進を図った。 支給総額は8,595,263円となった。			実 績 値	給付実績者数 小学生 932人 中学生 465人
	小学生 6,310,034円 中学生 2,285,229円				一人当たり給付費 小学生 6,770円 中学生 4,914円
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,570,000	10,006,437	0	0	0	10,006,437

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 ひとり親家庭医療費給付事業費					単位：円
事業内容	ひとり親家庭に対して医療費の一部を給付し、適正な医療の確保及び生活の安定と健康保持を図り、福祉の増進に資する。 【受給対象者】 1 父母...母子及び父子並びに寡婦福祉法に定める配偶者のない女子及び男子で18歳に達する日以後の最初の3月31日までの者を扶養している者 2 児童...1の扶養を受けている児童 3 母子及び父子並びに寡婦福祉法附則に定める父母のいない児童 所得判定対象者（受給資格対象者、生計同一の扶養義務者等）の所得が所得制限限度額（児童扶養手当施行令に定める所得制限限度額を準用）以内の者を対象とする。			計 画 値	給付見込者数 父母 263人 児童 385人 父母のいない児童 3人
					一人当たり給付費 父母 19,962円 児童 10,750円 父母のいない児童 7,000円
成果	医療費の自己負担額から、医療機関ごとに1カ月当たり入院は2,500円を超える額、入院外は750円を超える額をそれぞれ給付した。 ただし、受給対象者が3歳未満である場合及び所得判定対象者全員が住民税非課税の場合は全額を給付した。 支給総額は8,651,313円となった。			実 績 値	給付実績者数 父母 232人 児童 315人 父母のいない児童 0人
					一人当たり給付費 父母 21,981円 児童 11,275円 父母のいない児童 0円
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,687,000	8,899,816	3,685,680	0	268,745	4,945,391

03款	民生費	02項	児童福祉費	03目	母子福祉費													
事業名					寡婦等医療費給付事業費	単位：円												
事業内容	母子及び父子並びに寡婦福祉法に規定する寡婦のうち69歳までの者に対して医療費の一部を給付し、寡婦家庭の健康保持と福祉の増進を図る。			計	給付見込者数	221人												
				画	一人当たり給付費	43,996円												
成果	医療費の自己負担額から、医療機関ごとに1カ月当たり入院は2,500円を超える額、入院外は750円を超える額をそれぞれ給付した。ただし、受給対象者が住民税非課税の場合は全額を給付した。支給総額は9,216,206円となった。			実	給付実績者数	178人												
				績	一人当たり給付費	51,776円												
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳									
				国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
10,233,000		9,618,261		0		0		0		9,618,261								

03款	民生費	02項	児童福祉費	05目	保育所費													
事業名					保育所運営事業費	単位：円												
事業内容	保護者や同居の親族が仕事や病気、障がい、出産等のため、児童を保育することができないと認められる場合、保護者からの申込みにより、保護者等に代わって保育所において児童の保育を実施する。			計	市立保育所定員	125人												
				画														
成果	保護者や同居の親族が仕事や病気、障がい、出産等のため、児童を保育することができないと認められる児童の保育を実施することにより、保護者や同居の親族が安心して仕事や病気の回復等に専念できるように支援した。			実	市立保育所年齢別入所数													
	【年度末現在入所者数】 括弧内記載の割合は定員に対する充足率 宮守 61人(93.8%)、達曽部 32人(106.6%)、鱒沢 14人(46.6%)			績	0歳児	13人												
			値	1～2歳児	39人													
				3歳児	19人													
				4歳児以上	36人													
				合計	107人(定員125人)													
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳									
				国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
66,317,000		65,699,233		0		0		14,444,050		51,255,183								

03款 民生費		02項 児童福祉費		05目 保育所費		
事業名 子育て支援環境整備事業費					単位：円	
事業内容	<p>市立幼稚園及び保育所の運営について、平成28年4月1日から社会福祉法人遠野市保育協会へ移管することで協議が整い、平成27年10月1日付けで協定書を締結した。</p> <p>その協定書に、建物は無償貸付することとなっていることから、今般、保育運営に必要な最低限の改修工事を行うことにより安定的な保育業務が期待されるものである。</p> <p>現在の遠野市保育協会の園内施設状況と統一した形で、エアコンの設置等をはじめ、老朽化している保育室等全般の改修工事も併せて施工するものである。</p> <p>また、現在の建物用途は、建築基準法上「幼稚園及び保育所」としてそれぞれ設置しているが、今回の遠野市保育協会としての保育所認可申請においては、建物一体を「保育所」として建築確認申請を提出することになるため必要な改修も併せて実施するものである。</p>			計画	<p>市立宮守幼稚園保育所 市立達曽部幼稚園保育所 市立鱒沢幼稚園保育所</p> <p>保育所認可基準、建築基準法、消防法の規定による必要な改修及び全室エアコンを設置</p>	
	<p>1 保育所認可基準、建築基準法、消防法の規定により保育運営に必要な最小限の改修工事を行うことによって、安定的な保育業務が提供できた。</p> <p>現在の遠野市保育協会の園内施設状況と統一した形で、エアコンの設置等をはじめ、老朽化している保育室等全般の改修工事も併せて施工したことから、市内保育園で統一したサービス提供を行うことができた。</p> <p>(1) 宮守幼稚園・保育所 排煙窓、非常灯、消火栓、給食室床張替、戸棚改修、物置改修、ステージ塗装、物置小屋解体、砂場ブロック工事、LANケーブル配線等</p> <p>(2) 達曽部幼稚園・保育所 排煙窓、非常灯、廊下クロス張替、ホール扉改修、乳児室採光窓、物置小屋解体、玄関タイル改修、雨漏り改修、LANケーブル配線等</p> <p>(3) 鱒沢幼稚園・保育所 体育館通路解体、LANケーブル配線</p> <p>2 市立幼稚園及び保育所の民営化に伴い、「遠野市立幼稚園・保育所の記録誌～みやもり・たっそべ・ますざわのかたち～」を作成し、市立幼稚園及び保育所の軌跡をたどるとともに、記録として後世へ残すことができた。</p>				実績	<p>市立宮守幼稚園保育所 市立達曽部幼稚園保育所 市立鱒沢幼稚園保育所</p> <p>保育所認可基準、建築基準法、消防法の規定により必要な改修及び全室エアコンの設置(排煙窓、非常灯消火栓、採光窓、給食室床張替、物置、戸棚等)</p> <p>建設工事 15,866,280円 電気工事 11,200,680円</p> <p>遠野市立幼稚園・保育所の記録誌 300冊作成</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
29,003,000	29,001,965	0	0	21,955,000	7,046,965	

03款 民生費		03項 生活保護費		02目 扶助費	
事業名 生活保護費					単位：円
事業内容	生活に困窮している方に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を実施し、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立助長を実施する。			計 画 値	1 被保護世帯数 225世帯
					2 被保護人員 306人
成果	1 保護の相談・申請時における適切な窓口対応に努めるとともに適切な助言指導を行うため、関係機関と連携して必要な支援を行った。			実 績 値	1 被保護世帯数 230世帯
	2 関係機関との連携により、被保護者の就労支援・社会的自立の充実と強化を図った。				2 被保護人員 300人
【保護申請・決定・廃止の状況】					
1 申請 32件					
2 開始 23件 傷病 3 収入の減14 その他 6					
廃止 20件 死亡 6 就労開始・収入の増 5 転出 1					
その他 8					
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
483,145,000	465,561,258	327,321,678	0	5,115,132	133,124,448